

農産物物流の活性化に

大隅グリーンロード開通

大隅半島を横断し農畜産物の生産と流通への効率化を図る、大隅中央区域農業用道路(愛称・大隅グリーンロード)の開通・完工式、祝賀会が19日、曾於郡大崎町岡別府の大崎中央大橋と肝属郡串良町の町民会館で開かれ、国や県、沿線の鹿屋、串良、大崎、有明、志布志の1市4町の行政、議会関係者ら約1300人が出席して完工を祝った。



開通を祝いテープカットする関係者ら =大崎町の現地で

同道路は、鹿屋市東原町を起点に串良、大崎、有明町を経て志布志町安楽に至る21・5kmの農業用道路。片側1車線、全幅員8.5m(歩道2m含む)、設計速度は50km/h。区間内には9カ所の橋梁がある。今回開通したのは鹿屋、串良、大崎間の約15km。整備が進む有明町の蓬原、高吉間(野井倉大橋含む)1・5kmは3月末には全面通行となる。また、

受益面積の畑作・水田営農の区画整備、暗渠排水、土層改良など整備事業が行われた。

当日は大崎町の中央大橋近くで開通式が行われ、関係者代表らがテープカ

林業改良普及活動実績発表大会

全国大会へ重森氏(加治木指導区)



大会挨拶を行う県林務水産部の諏訪部長 =鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で

林業改良指導員の資質及び意欲の向上を図る16年度「林業改良普及活動実績発表大会」が21日、鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で開かれ、各指導区(県出先事務所)の代表12人が除階伐・森林整備の推進など、日々の普及活動の成果を発表した。審査の結果、全国大会に重森宙一氏(加治木指導区)、九州大会に鮫島士郎氏(加世田指導区)が選出された。

同日は、各指導区における林業改良指導員の自己研さんと創意工夫による普及活動の成果を発表し、指導員の資質及び意欲の向上を図ることを目的に、昭和26年度から毎年開いているもので、審査結果に基づき全国大会及び九州大会出場が認められる」と述べた。

その施策等については、県土木住宅課の担当職員が説明。「1戸建ての木造軸組工法の住宅で、木・造作工事における合板など各種ボード類の品質はF☆☆☆☆以上であること」などその建設基準について話したほか、「居住性や耐久性、安全性等が高い水準を有し、環境負荷の低減に配慮した高規格住宅工事(環境配慮型)を行う場合は、割増の融資制度が設けられている」と説明した。

大会に当たり県林務水産部の諏訪弘美部長が「県の財政事情により、厳しい予算の中で林業振興発展のため普及活動に取り組み姿勢に感謝する。この日の発表内容が、本県の林業発展につながることに期待する」とエールを送った。

発表上の注意の後、最初の発表者として加世田指導区の鮫島指導員が登壇した。



真剣に聴講する受講者ら =鹿児島市のかごしま県民交流センターで

県と県住宅・建築総合センターの主催による「かごしま環境共生住宅講習会(鹿児島会場)」が21日、鹿児島市のかごしま県民交流センターで開かれた。参加した約80人の建築設計関係者らは同住宅の普及促進に向け、その特性等について理解を深めた。

会では、武田敏郎(株式会社建築事務所)社長が同住宅の定義、方針などについて解説。「エネルギーや資源等への十分な配慮や周辺の自然環境と親密に調和した住宅。また、住み手が主体的に係わりながら健康で快適に生活できるような工夫されたもの」と定義付けし、「本県の多様な地域特性を反映し、最新の技術と伝統をバランスよく組み合わせた住まいづくりが求められる」と述べた。

九州電力(株)鹿児島支店は20、21日、指宿市の指宿海上ホテルと加世田市の加世田市商工会議所で「火災認定除外・営業手法セミナー」を開催し、建設関係業者らが出席してオール電化住宅の効果的

な販促手法等について学んだ。今回のセミナーは、県と鹿児島市が16年に電磁誘導加熱調理器が建築確認での「火災」扱いに該当しないこと判断したことを受けて、顧客に対する的確なプレゼンテーションへとつなげてもらいたいということを基本コンセプトとして実施。指宿



販売手法等を学んだセミナー =指宿市の指宿海上ホテルで(上)、加世田市の加世田市商工会議所で



また、小野氏も「オール電化からリフォーム工事へ」と題して講演し、見込み客の発掘方法や、機器取り替えからリフォーム受注へつなげていく手法などについて説明。いずれの会場でも、出席した関係者らがメモを取りながら真剣な面持ちで聴き入っていた。

野裕美事務局長を講師に招いて行われた。沖田氏は「火災認定除外で何が変わり、営業をどう進めるか」と題し、1日クッキングヒーターの安全性や、ビルダー会員が総ヒノキムク材のオール電化住宅を受注したことなど具体的な例を示しながら講演。

九州電力

火災認定除外・営業手法セミナー

具体例を示し説明

九州電力(株)鹿児島支店は20、21日、指宿市の指宿海上ホテルと加世田市の加世田市商工会議所で「火災認定除外・営業手法セミナー」を開催し、建設関係業者らが出席してオール電化住宅の効果的

な販促手法等について学んだ。今回のセミナーは、県と鹿児島市が16年に電磁誘導加熱調理器が建築確認での「火災」扱いに該当しないこと判断したことを受けて、顧客に対する的確なプレゼンテーションへとつなげてもらいたいということを基本コンセプトとして実施。指宿

また、小野氏も「オール電化からリフォーム工事へ」と題して講演し、見込み客の発掘方法や、機器取り替えからリフォーム受注へつなげていく手法などについて説明。いずれの会場でも、出席した関係者らがメモを取りながら真剣な面持ちで聴き入っていた。

野裕美事務局長を講師に招いて行われた。沖田氏は「火災認定除外で何が変わり、営業をどう進めるか」と題し、1日クッキングヒーターの安全性や、ビルダー会員が総ヒノキムク材のオール電化住宅を受注したことなど具体的な例を示しながら講演。

また、小野氏も「オール電化からリフォーム工事へ」と題して講演し、見込み客の発掘方法や、機器取り替えからリフォーム受注へつなげていく手法などについて説明。いずれの会場でも、出席した関係者らがメモを取りながら真剣な面持ちで聴き入っていた。



多くの来場者でにぎわった展示会 =鹿児島市のオロシティータにやまで

同日は、開場と同時に待ちかねた来場者が続々と会場に入り、各展示コーナーとも担当者から説明を受けた。会場では同社社員が対応に当たり、協賛出展した各メーカーも自慢の商品をアピールしていた。このうち、自動ふすま表張り機やふすま・框乾燥機などふすまの大型機械展示コーナーではしわがでにくく、素

久永社長は「日ごろの感謝の気持ちを形にしました。建設業界が厳しい中、特にしわ寄せは専門工業者が最も受ける。少しでもコスト削減につながるように、情報を提供し地域に密着した形で頑張っていきたい」と話した。

ふすま機械など好評の展示会

の経緯や林業システム構築の成果として現在の稼働状況や地域材の販売状況、今後の課題などを紹介していた。

「(株)インハウス久永(久永祐司社長)は21日、鹿児島市の鹿児島総合卸商業団地協同組合の会館

「(株)インハウス久永(久永祐司社長)は21日、鹿児島市の鹿児島総合卸商業団地協同組合の会館

「(株)インハウス久永(久永祐司社長)は21日、鹿児島市の鹿児島総合卸商業団地協同組合の会館